

様式 1

令和4年度墨田区立 柳島幼稚園 経営計画書

園長名 藤村 雅彦

幼稚園目標	◎心の豊かな子供(今年度の重点) ○健康でたくましい子供 ○自分で考え、行動できる子供
目指す幼稚園像	笑顔で登園し、満ち足りた気持ちで家路につく園 (子供・教職員・保護者・地域)
目指す子供像	①自然や人とのかかわりを通して、人の気持ちが分かる思いやりのある子供 ②体を動かす心地よさや楽しさを感じ、すすんで遊ぼうとする子供 ③素直に自分をあらわし、思いや考えを大切に、やり遂げようとする子供
目指す教師像	① 一人一人の幼児理解を深め、一人一人の育ちを中心に据えて考える教師 ② 誠実かつ謙虚に保育の質の向上にたゆまぬ努力をする教師 ③ 広い視野をもち、家庭・地域と連携して園運営に参画する教師

項目	取組目標	取組指標	成果指標
保育活動等	幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。	○幼児に自らの思いや願いに気付かせ、それらを進んで表現しようとする働きかけを行う。 ○身体表現を通して、表現することが楽しいと感じられる幼児を育てる。	○遊びや豊かな体験の場の設定と環境整備で指導を充実 ○遊びを「見える化」し、幼児向けの「ドキュメンテーション」作成
	特別な支援を必要とする幼児に対して、組織的な支援等を行う。	○幼児や保護者が抱える様々な障害を理解し、担任と介助員、学校支援指導員間で情報を共有しながら適切な指導を行う。 ○個に応じた教師の言葉かけを工夫し幼児の意欲を高める。	○介助員や学校支援指導員との連携による特別支援を必要とする幼児への個に応じた保育の実施 ○週1回の(特別支援)朝会、月1回の園内委員会開催と全教職員による実態や支援方法の共通理解
	将来の自立に向けた保育活動・相談活動等に取り組む。	○年間指導計画に沿って発達段階に応じた教育を推進する。 ○幼保小中一貫教育を推し進め、小学校教育との円滑な接続をめざす。 (スタートカリキュラムの改善)	○幼保小中連絡協議会(年2回) ○併設小学校(柳島小学校)との交流活動や体験給食等の充実(各学年1回以上) ○近隣の保育園児や中学生(錦糸中、ステップ学級)との交流活動の実施
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等を行う。	○園内研究活動を充実させ、自然環境とのかかわりを通して、幼児の気付きを深める。 ○区幼研を通して、互いに学び合う態度を高め研究内容を共有する。	○研究協力園発表の成果を生かした園内研の充実(月1回以上)により教員の指導力向上 ○区幼研の研究内容の共有(月1回以上)
生活指導等	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。	○家庭と連携を密にし、協力しながら幼児の健全な生活習慣や態度を身に付けさせる。	○送迎時の触れ合い、保護者会、家庭訪問、個人面談、子育て相談等の実施
	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	○全教育活動を通して、正しい言葉遣いやあいさつ、思いやり等を育ませる。	○あいさつ活動の実施 ○基本的生活習慣の指導 ○片付けの時間の確保
	危機回避能力の基礎の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	○園における新型コロナウイルス感染症予防対策を着実に実施する。 ○各種訓練や安全教室等を通して、幼児一人一人の安全に対する意識を高め、危機管理能力を養う。 ○組織的・計画的な安全対策を構	○全職員で、感染防止対応を毎日行う。 ○併設小学校との合同避難訓練、安全指導の実施(月1回) ○安全点検の実施(月1回)

様式 1

		築し、実施する。	
	幼児や保護者からの意見や要望への対応等を行う。	○保護者会や家庭訪問、個人面談、幼稚園評価アンケート等を活用し、保護者からの意見や要望を聞き、日々の教育活動の改善に役立てるとともに、次年度の教育計画に生かす。	○登退園時、保護者との交流 ○保護者会や家庭訪問、個人面談等の実施 ○保護者対象の園評価アンケートの実施 (肯定的評価90%以上)
園 の 管 理 運 営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。	○全教員が幼稚園経営方針を踏まえた個々の取組目標を設定し、その目標達成のために日々の教育活動を実施する。 ○学級経営案や週日案の作成によって、計画的な学級経営や保育を行う。	○自己申告書に基づく保育観察及び面接の実施・指導 (年3回) ○週日案の提出及び指導助言の実施(毎週月曜日) ○園長補佐による指導や校務遂行状況の把握と報告・連絡・相談の徹底
	幼児の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	○幼稚園評価を踏まえて、園や幼児の実態に合った園の教育目標の見直しや設定を行う。 ○指導方法や内容を教職員間で共通理解して行い、園の教育目標の達成を目指す。	○全教職員及び保護者による園の教育目標の評価を実施 ○教職員全員の目標実現のための手立ての共有化
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	○全教職員が本校の教育環境の整備状況を把握し、現存する備品や消耗品、施設等を有効に活用し、教育効果を高める工夫をする。 ○次年度へ向けて備品や消耗品、施設の充実を図る。	○毎朝の職員打ち合わせ会の実施 ○当該年度の園予算の把握と適正な予算の執行
家 庭 ・ 地 域 連 携	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	○保護者や地域住民への保育や行事等の公開の機会を設け、園の教育活動への理解を深める。 ○保護者会や保護者向けの各種通知、スライドショー、ホームページ等により、日々の教育活動や幼児の様子を知らせ、園への理解や協力を仰ぐ。	○公開保育や園説明会の実施 ○たんぼぼクラブ(未就園児)の実施 ○運動会やお楽しみ会、ミニ縁日、遊園地ごっこ等の公開 ○園便りや学級便り等の内容の充実と定期的な発行 ○スライドショーの計画的実施 ○ホームページの更新頻度の向上(月2回以上)
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	○保護者ボランティアを活用し、教育環境を整える。 ○親子で行う活動等の機会を設け、子育ての楽しさを感じる体験を奨励する。	○保護者や高齢者の保育参加の実施(親子遠足、ふれあい会、お誕生会、もちつき、アネモネ会等)

※表については、必要に応じて2ページ以上にわたるように加工する。